

本耶馬溪総合福祉センター 土砂災害想定避難訓練

6月13日（木）、本耶馬溪総合福祉センターにおいて、土砂災害想定避難訓練を実施しました。

昨年の耶馬溪での土砂災害を契機に、本耶馬溪総合福祉センターは裏山と隣接していることから、昨年より、土砂災害を想定した訓練を行っており、今回は、より安全に、より安心して避難できる場所として、本耶馬溪公民館まで、車で輸送しての避難訓練を行いました。

当日は、13：30に大雨注意報（警戒レベル2）が発令された想定から、初動マニュアルに準じて、①警戒体制～②非常体制～③避難行動～④避難所対応を行い、デイサービスセンターと生活支援ハウスのご利用者26名と職員21名の計47名が実際に避難を行いました。

近年、過去に経験が無い様な災害や想定を超えた災害も多発しており、日頃からの備えや早めの行動・避難を常に心がけていくことが重要であると、訓練を通して再認識する機会となりました。

“早めの行動・避難で、「何もなくて良かった！」を習慣に！！”



《水害・土砂災害の防災情報の伝え方が変わります》

- ◆警戒レベル5【既に災害が発生している状況。命を守るための最善の行動を！】
- ◆警戒レベル4【全員避難。速やかに避難先へ避難！】
- ◆警戒レベル3【高齢者等は避難。避難に時間を要する人とその支援者は避難開始！】
- ◆警戒レベル2【避難に備え、避難行動を確認！】
- ◆警戒レベル1【気象状況に注視し、災害への心構えを高める！】